

会 議 録

会 議 名	令和5年度第3回嵐山町総合教育会議			
開 催 日 時	令和5年11月13日(月)	開 会	午前11時30分	
		閉 会	午前12時10分	
開 催 場 所	町民ホール			
会 議 次 第	1 開会 2 あいさつ 3 議事 嵐山町立小中学校再編基本計画(案)について 4 閉会			
公開・非公開の別	公 開	傍聴者数	0人	
非公開の理由 (非公開の場合)	/			
委員出欠状況	佐久間町長	出	船戸教育委員	出
	下村教育長	出	中澤教育委員	出
	嶋本教育委員	出	村田教育委員	出
事 務 局	萩原総務課長			
	石橋総務課副課長			
関 係 職 員	高橋教育総務課長			
	尾針教育総務課副課長			

次 第	顛 末
1 開 会	事務局
2 あいさつ	佐久間町長
3 議 題 教育総務課 町長 教育総務課 町長 教育総務課 町長 教育総務課 町長 教育総務課	嵐山町立小中学校再編基本計画（案）について ・「5 具体的な再編計画」の「(3) 新校開校時期について」の理由欄内に開校までのスケジュールを載せた旨の記載をし、「(6) その他検討事項について」の理由欄に「開校までの大まかなスケジュール」を記載した。「(4) 遠距離通学に対する支援について」内のスクールバスの対象として、七郷小学校、古里地区の中学生に限定する文言を修正した。 ・スクールバスについては、柔軟な対応をとる方向になったということによいか。 ・はい。 ・パブリックコメントによると意見集約が足りないという意見があるが、今までどれだけの意見集約をしていたのか。 ・「小中学校再編等審議会」を立ち上げ、町民や保護者に向けたアンケートを実施しての状況把握、P T A等教育団体の会議でお話をし、各団体にて持ち帰ってもらい、次の会議で話し合いをもらった。地域の方々には、審議会の開催後すぐにホームページ及び広報に掲載して情報発信に努めた。議会議員や町内の他の委員会等の会議に際に出向き、お時間をいただき進捗等の説明をした。9月から開催していた説明会は計3回開催した。そういった中、保護者からのご意見のもと、保護者向けの説明会を計5回開催した。その後、パブリックコメントの募集を実施した。 ・教職員の意見聴取はどうしたのか。 ・令和5年3月にアンケートを実施し、教室の配置、今後の教育方針等について意見をいただいた。 ・子どもの意見も尊重する必要があるが、どのように意見を聴取しているのか。 ・子どもの意見の聴取については検討中である。広報嵐山で「広報紙で言いたいこと、言っちゃおう」のコーナーでいくつかの意見をいただいております、こういった手段で意見聴取できることもわかったので、指導主事と連携して意見聴取の実施をしていきたい。

町長	・子どもの意見はこの基本計画（案）に反映されていないということか。
教育総務課	・保護者のアンケートの中で、家庭内で子どもの意見をとらえているのではないかと考えている。
町長	・パブリックコメントの取り方に違法性があったと言われているようだが、実際はどうなのか。
教育総務課	・行政手続法第39条第3項による30日以上なければならないという規定は、命令等を定めようとする場合に適用されるものであり、今回の内容は、「嵐山町パブリックコメント手続実施要綱」に基づき意見を求めるものなので、問題はない。
町長	・七郷小学校の廃校に対して多くの方が心配している。小規模特認校にしない理由は。
教育総務課	・小規模特認校については、議会議員からも指摘をされているが、設定をしても七郷小学校の児童数増加につながることは大変難しく、見送ることにしている。
町長	・複式学級のメリット、デメリットはどうなのか。
教育長	・複式学級のメリットは、異学年同士が一つの学級になることから異学年間の交流を深められることである。デメリットは、県内ではほとんど実施していないという状況の中、一人の教員が複数の学年の授業を同時に行うことになることから学習指導が行き届かなくなることであり、保護者の不安も多いため、複式学級を生じさせない方向で進めている。
町長	・小規模特認校と複式学級については、保護者は避けたいと考えているのか。
教育総務課	・複式学級は避けて欲しいが、七郷小学校は少人数で継続して欲しいとの声がある。
教育長	・小規模特認校という考え方もあるということで、そういう残し方もあるという意見が一定数ある一方、七郷小学校の建物を維持していくのも限界があるという現実による困難もある。
町長	・そうすると、小規模特認校にしないのは、建物の老朽化進んでいるためなのか。
教育長	・建物の問題もあるが、七郷小学校を小規模特認校で残していき、都市部と自然の中での違いがあるというほど嵐山町内での違いはなく、大きな効果は得られないと考えている。
町長	・統合するメリットの他にデメリットがはっきりしていないと思われる。小規模特認校を実施しない理由がはっきりしない状態では、七郷地域には七郷小学校の廃校は大きな問題であり、現状の理由では結論は出せない。

	○今後、小規模特認校を実施しない理由等統合するメリットデメリット等をはっきりさせたうえで再度会議を開催することになった。
5 閉 会	事務局